

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 3月

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 楠本泰士

研究課題名

東京都国分寺市での児童発達支援事業の利用者推移

- 過去 10 年間の後方視的研究 -

研究期間

2024年 3月 ~ 2025年3月

研究の目的・意義

文部科学省の調査では、小中学校にて学習面又は行動面で著しい困難を示す児童・生徒数は全体の8.8%で、このうち特別な教育的支援が必要と判断されている割合は28.7%、通級による指導を受けている割合は10.6%と報告されています。現在の日本では、就学後の支援だけでなく、就学前からの児童発達支援事業の需要が急増しています。しかし、初回の発達相談の場となる公立の児童発達支援事業所からの情報は極めて少なく、保護者のニーズの変化や児の機能変化に関する報告は全国的に不十分という問題があります。

そこで本研究では、東京都国分寺市での児童発達支援事業を利用した方々のニーズ（主訴）の変化や療育サービスを利用した児の機能変化を過去 10 年間の後方視的研究として明らかにすることを目的に、日常の診療で実施されていた記録や発達検査結果を用いて検討します。

研究対象となる方

2013年4月から2022年3月までの期間に、国分寺市立子どもの発達センターつくしんぼにおいて児童相談事業を利用した方のうち、以下のすべてに該当する方が対象です。

- ・上記センターに問い合わせ後、初回の児童相談面談を行った全ての方
- ・センター内の療育サービスを利用した方

研究の方法

- ・本研究では、対象となる方の診療情報から、生年月日・初診日・紹介元・疾患名（明確な診断名のついている方のみ）・年齢・性別・保護者の方の主訴を施設内の記録から取得します。
- ・上記センターの療育サービスを利用した方のみ、上記の内容に加えて、身長や体重などの出生時情報・療育開始日・終了日・終了後の利用施設・療育中に実施した発達検査を施設内の記録から取得します。
- ・保護者の方の主訴は、内容ごとに分類し、年次変化や疾患の有無による違いを解析します。また、上記センターの療育サービスを利用した方の情報は、疾患の有無で各データを比較します。

研究組織

この研究の研究機関と研究責任者、および既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学保健科学部理学療法学科で利用し解析を行います。

【研究組織】

研究責任者	福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 楠本泰士
既存試料・情報の提供のみを行う機関	国分寺市立子どもの発達センターつくしんぼ 公認心理士 鳥生貴子

この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号

公立大学法人福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 担当 楠本泰士

電話:024-581-5543 FAX: 024-581-5528

E-mail:kusumoto@fmu.ac.jp